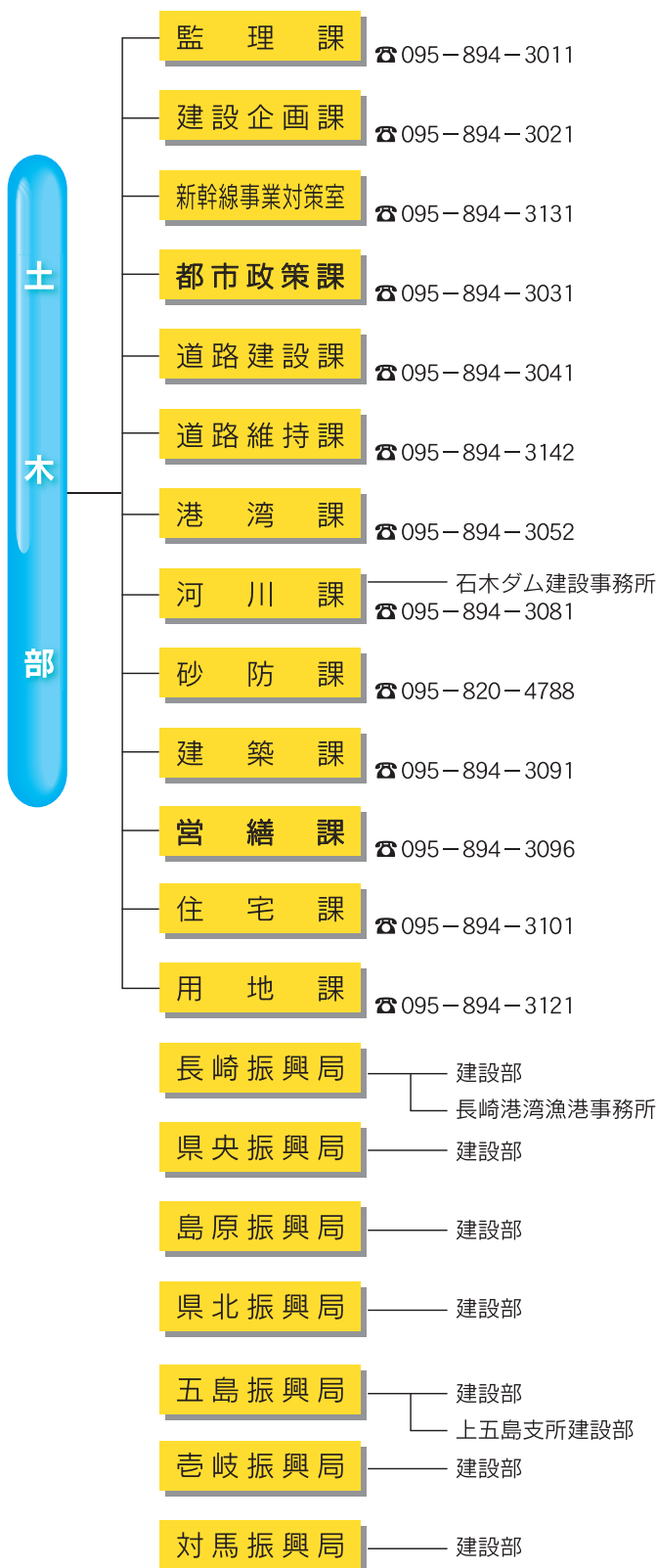


資料

1 県土木部の組織

～組織及び関係職員現員表～

(1) 土木部機構図



(2) 土木部関係職員現員表

(令和2年4月1日現在)

所 属	事務職員	技術職員	現業職員	合 計
監 理 課	21	9	0	30
建 設 企 画 課	4	23	0	27
新幹線事業対策室	2	4	0	6
都 市 政 策 課	8	13	0	21
道 路 建 設 課	6	18	0	24
道 路 維 持 課	4	12	0	16
港 湾 課	12	20	0	32
河 川 課	13	16	0	29
砂 防 課	0	9	0	9
建 築 課	5	13	0	18
営 繕 課	0	23	0	23
住 宅 課	6	12	0	18
用 地 課	13	0	0	13
本 庁 計	94	172	0	266
長崎振興局建設部	25	59	2	86
長崎振興局長崎港湾漁港事務所	32	22	0	54
県央振興局建設部	14	44	2	60
島原振興局建設部	17	33	3	53
県北振興局建設部	41	97	7	145
五島振興局建設部	15	19	2	36
上五島支所建設部	7	16	1	24
壱岐振興局建設部	10	13	1	24
対馬振興局建設部	17	28	3	48
石木ダム建設事務所	5	6	0	11
地 方 機 関 計	183	337	21	541
合 計	277	509	21	807

※併任職員を除く

3 令和2年度県土木部予算の概要

1 令和2年度土木部関係予算の概要

(単位：千円、%)

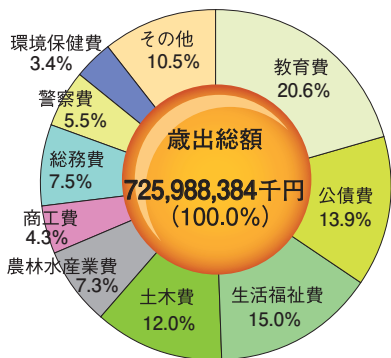
区 分	令和元年度予算額		令和2年度予算額		比 較	
	事業費(A)	構成比	事業費(B)	構成比	増減額(C) [(B)- (A)]	増減率(B)/(A)
2 総務費	18,772,684	17.37	19,439,388	16.99	666,704	103.55
2 企画費	18,772,684	17.37	19,439,388	16.99	666,704	103.55
1 企画総務費	46,662	0.04	42,701	0.04	△ 3,961	91.51
2 交通政策費	18,726,022	17.32	19,396,687	16.95	670,665	103.58
8 土木費	79,301,481	73.35	87,267,778	76.25	7,966,297	110.05
1 土木管理費	2,042,360	1.89	2,074,772	1.81	32,412	101.59
1 土木総務費	736,408	0.68	752,292	0.66	15,884	102.16
2 用地総務費	632,838	0.59	616,992	0.54	△ 15,846	97.50
3 建築指導費	673,114	0.62	705,488	0.62	32,374	104.81
2 道路橋りょう費	34,093,057	31.55	39,950,373	34.92	5,857,316	117.18
1 道路橋りょう総務費	754,104	0.70	622,170	0.54	△ 131,934	82.50
2 道路維持費	7,984,592	7.39	8,245,873	7.20	261,281	103.27
3 道路舗装費	2,451,260	2.27	2,825,434	2.47	374,174	115.26
4 道路改良費	20,565,490	19.02	25,949,126	22.67	5,383,636	126.18
5 橋りょう費	2,337,611	2.16	2,307,770	2.02	△ 29,841	98.72
3 河川海岸費	17,916,948	16.58	21,444,049	18.74	3,527,101	119.69
1 河川海岸総務費	660,306	0.61	534,575	0.47	△ 125,731	80.96
2 河川費	4,772,220	4.41	6,025,800	5.27	1,253,580	126.27
3 河川開発費	4,218,230	3.90	4,490,316	3.92	272,086	106.45
4 砂防費	7,332,819	6.78	9,290,003	8.12	1,957,184	126.69
5 海岸費	933,373	0.86	1,103,355	0.96	169,982	118.21
4 港湾空港費	8,927,814	8.25	9,513,422	8.31	585,608	106.56
1 港湾空港総務費	669,736	0.62	626,986	0.55	△ 42,750	93.62
2 港湾費	7,429,446	6.87	7,778,763	6.80	349,317	104.70
3 空港費	828,632	0.77	1,107,673	0.97	279,041	133.67
5 都市計画費	13,204,748	12.22	11,165,395	9.76	△ 2,039,353	84.56
1 都市計画総務費	47,054	0.04	154,380	0.13	107,326	328.09
2 都市改造費	12,775,301	11.82	10,577,136	9.24	△ 2,198,165	82.79
3 公園費	382,393	0.35	433,879	0.38	51,486	113.46
6 住宅費	3,116,554	2.87	3,119,767	2.73	3,213	100.10
1 住宅総務費	128,593	0.12	132,017	0.12	3,424	102.66
2 住宅整備費	2,987,961	2.76	2,987,750	2.61	△ 211	99.99
11 災害復旧費	2,430,000	2.25	3,048,572	2.66	618,572	125.46
2 公共土木施設災害復旧費	2,430,000	2.25	3,048,572	2.66	618,572	125.46
1 河川等災害復旧費	2,200,000	2.04	2,588,572	2.26	388,572	117.66
2 港湾災害復旧費	230,000	0.21	460,000	0.40	230,000	200.00
一般会計合計	100,504,165	92.96	109,755,738	95.90	9,251,573	109.21
用地特別会計	3,037,400	2.81	1,657,900	1.45	△ 1,379,500	54.58
港湾施設整備特別会計	2,333,681	2.17	2,216,913	1.94	△ 116,768	95.00
港湾整備事業会計	2,227,011	2.07	816,022	0.71	△ 1,410,989	36.64
合 計	108,102,257	100.0	114,446,573	100.0	6,344,316	105.87

令和2年度 土木部関係予算の新規事業

事業名	元年度当初	事業内容	担当課
建設業PRビデオ制作事業費	3,056千円	県内建設業のイメージアップを図り、県内建設業者への就職希望者を増加させるため、PRビデオの制作・放映を実施	建設企画課

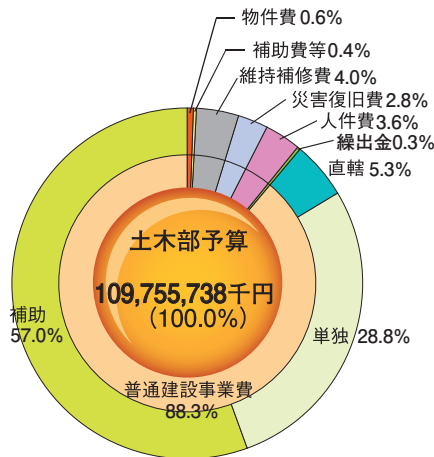
2 令和2年度土木部の予算

(1) 県予算(一般会計)款別内訳

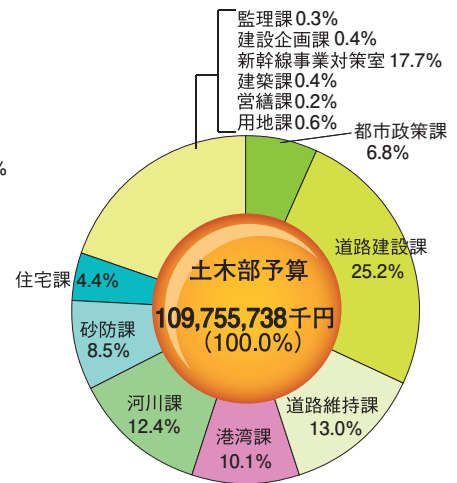


※土木部予算のうち、企画費は「総務費」
災害復旧費は「その他」に区分

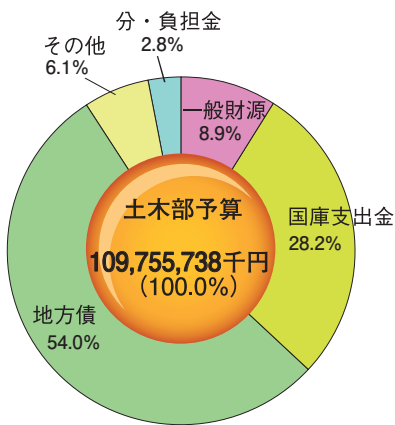
(2) 土木部予算性質別内訳



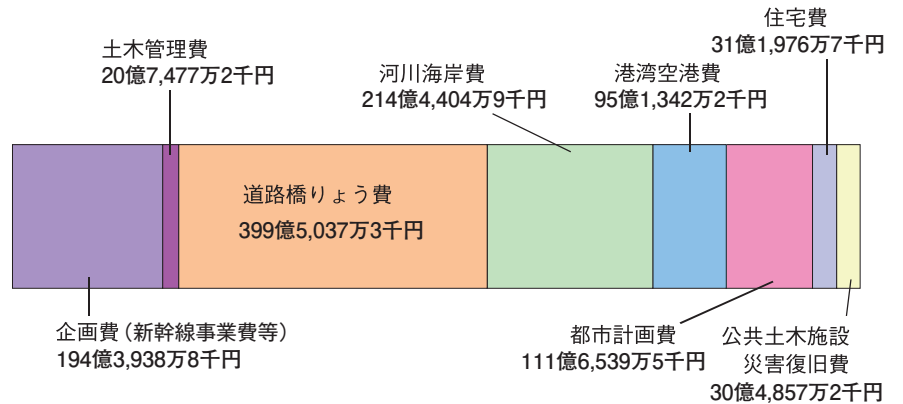
(3) 各課別内訳



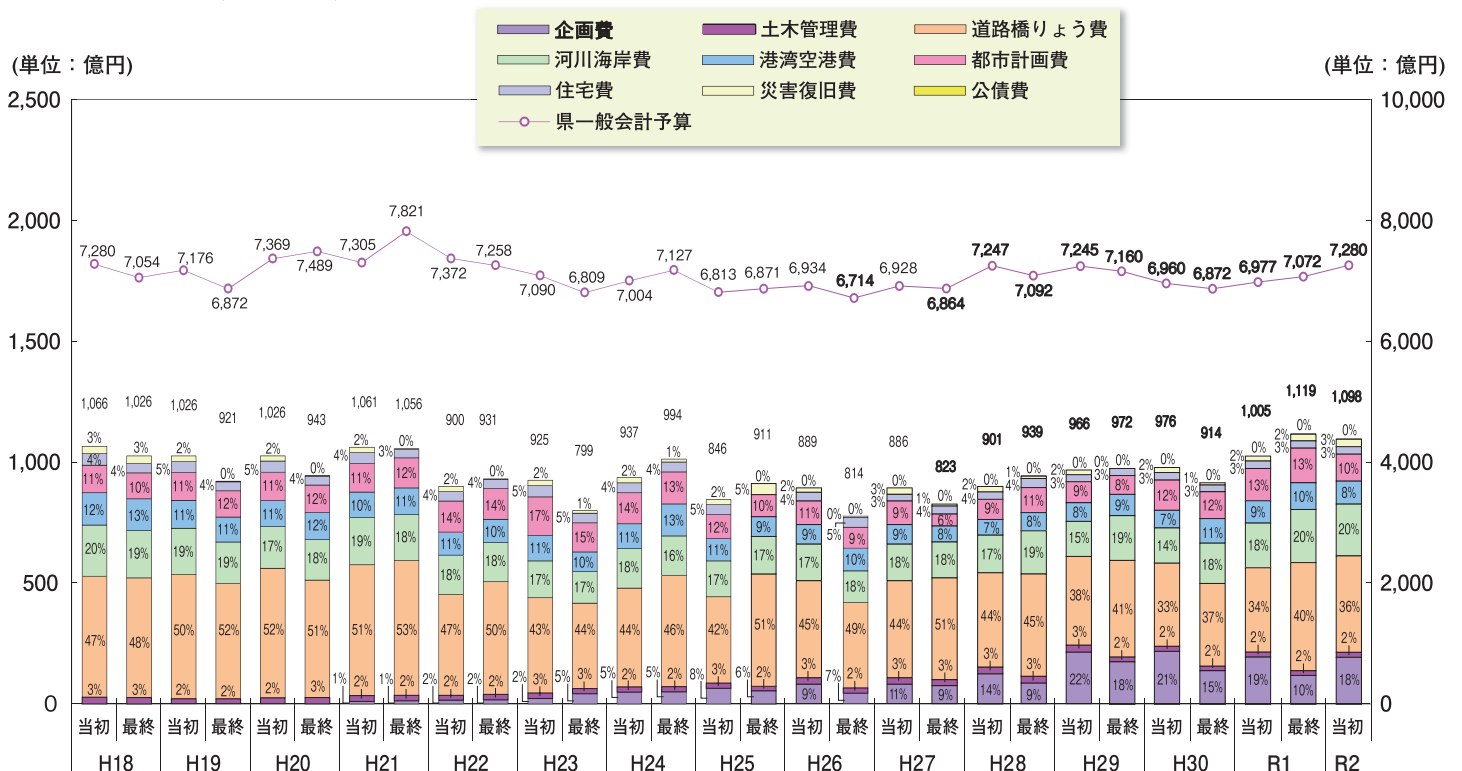
(4) 土木部予算財源内訳



(5) 土木部事業別予算



(6) 土木部当初予算(一般会計)、
県予算(一般会計)の推移



4 長崎県の各種事業の整備状況

長崎県の各種事業の整備状況（全国との比較）

項目	指標	整備状況			箇所数・延長			摘要
		長崎県	全国平均	全国比	長崎県	全国	全国比(%)	
道路(国道・県道)	改良率(%)	71.1	73.9	0.962	180路線	13,816路線	1.3	道路統計年報2019(H30.4.1現在)
	整備率(%)	60.6	63.6	0.953				
河川	整備率(%)	56.6	—	—	376河川	21,145河川	1.8	R1年度末
海岸(港湾局所管)	整備率(%)	64.1	—	—	222箇所	1,794箇所	13.5	R1年度末(全国箇所数は平成30年度現在)
海岸(氷管理・国土保全局所管)	整備率(%)	55.7	—	—	284箇所	3,073箇所	9.4	R1年度末(全国箇所数は平成30年度現在)
地すべり	整備率(%)	55.0	—	—	189箇所	—	—	R1年度末
急傾斜	整備率(%)	28.1	—	—	4,157箇所	—	—	R1年度末
土石流危険渓流	整備率(%)	15.1	—	—	2,239箇所	—	—	R1年度末
街路	整備率(%)	76.4	64.5	1.184	571km	72,082km	0.8	H31年度末(全国はH30「都市計画年報」)
都市公園	一人当たり公園面積(/人)	14.2	10.6	1.340	1,206公園	110,279公園	1.1	H30年度末都市公園等整備現況調査
住宅	公的住宅整備率(%)	6.2	5.0	1.24	—	—	—	H30 住宅・土地統計調査

港湾	指標	長崎県整備状況	箇所数全体	箇所数整備済	長崎県管理の港湾数/81港
		岸壁整備率(%)	95%	194	184

- 改良率(道路): 車道幅員5.5m以上延長/道路の実延長
- 整備率(道路): 整備済延長/道路の実延長 整備済延長=規格改良済延長-混雑度1.0以上の延長
- 整備率(河川、海岸): 整備(改修)済延長/整備(改修)が必要な実延長
- 整備率(砂防、地すべり、急傾斜): 対策済箇所数/危険箇所数(要整備箇所)
- 整備率(街路): 整備済延長/都市計画決定延長



長崎県の日本一・世界一(土木部関連)

～長崎県の日本一・世界一 part.11 (平成20年3月、長崎県広報広聴課作成)より抜粋～

グラバー邸	日本最古	文久3年(1863年)建築されたグラバー邸は、現存する木造洋館としては日本最古
大浦天主堂	日本最古	長崎市南山手町の大浦天主堂は、日本に現存する最古の天主堂。慶応元年(1865年)2月19日落成、献堂設計はジラール、フーレ両フランス人神父、施工は小山秀による(国宝指定)
出島橋	日本最古	長崎市の中島川下流に架かる出島橋は明治23年(1890年)に作られ、現役として使用されている鉄橋としては日本最古
高島町端島(軍艦島)の炭坑住宅	日本最古	高島町端島(軍艦島)の炭坑住宅(大正5年(1916年)建設、地上7階、地下1階)は、現存する鉄筋コンクリート造高層アパートとしては日本最古(ただし、現在人は住んでいない)
生月大橋	世界最大	平成3年(1991年)7月完成した生月大橋の中央径間400mは三径間連続トラス橋としては世界最大
オランダ商館	日本初	慶長14年(1609年)、平戸市に建設されたオランダ商館は、日本で初めて作られたヨーロツパ様式の建物
興福寺	日本初	元和9年(1623年)、長崎在留の唐人たちが宗教行事を行う場として創建したのが興福寺の始まりで、日本で最初の唐寺
近代都市計画	日本初	万延元年(1860年)11月、大浦埋め立て地に、外国人の設計による地割りが行われ、道路幅、敷地寸法をそろえ、下水路を設けた。整然とした都市計画が横浜よりも一足早く行われた。
アスファルト道路	日本初	長崎市のグラバー園内のリンガー邸前の林の中のアプローチは、イギリス人の貿易商トーマス・B・グラバーの息子・倉場富三郎がつくらせた日本初のアスファルト道路。
眼鏡橋	日本初	寛永11年(1634年)、唐僧黙子如定(もくすによじょう)により架けられた眼鏡橋は、日本初のアーチ構造石橋
鐵橋	日本初	長崎市浜町と築町の間に架かる鐵(くろがね)橋は、明治元年(1868年)8月1日完成した日本最初の鉄橋(現在の橋は改築されたもの)
西海橋	日本初	佐世保市針尾と西彼杵半島を結ぶ西海橋は、我が国初の上落式プレストアーチ橋(総延長316.26m、中央径間216m)。昭和30年(1955年)10月完成で、我が国初の有料橋。
長崎空港	世界初	昭和50年(1975年)5月に開港した長崎空港は、大村湾に浮かぶ箕島(みしま)周辺を造成してつくられた世界初の本格的海上空港。